

## 【第1号議案】

### 2017年度 事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

特定非営利活動法人 はだしのゲンをひろめる会

- 2017年度は原水爆禁止世界大会・国際会議や国際交流では実績のあるANT-Hiroshima、プロジェクト・ゲン等の協力を得て、『はだしのゲン』『Barefoot Gen』を普及する。
- 原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝える事業を平和団体とともに取り組む。
- 核兵器禁止条約の締結をすべての国に求める「ヒバクシャ国際署名」を推進する。
- 賛助会員、賛助団体会員の募集や広報活動を重視する。

#### (1) 『Barefoot Gen』を国内外に普及する事業

- ・8月2日～4日、広島市で開かれた2017年原水爆禁止世界大会・国際会議にはだしのゲンをひろめる会（以下、ひろめる会）から2人、プロジェクト・ゲンから2人が参加。全体会場で『Barefoot Gen』（全10巻）やアラビア語版（第1巻）等の寄贈希望を呼びかけて、アメリカ、レバノン、チュニジア、イスラエル、モロッコ、ヨルダン、パレスチナ、フィリピン、アルジェリアの9か国14人に『Barefoot Gen』18セット、アラビア語版21冊を寄贈した。
- ・9月4日～6日、イギリス・ヨーク市で開かれた第22回 IPPNW 世界大会に武藤一彦先生（核戦争を防止する石川医師の会世話人）が参加。日本ブースにて『Barefoot Gen』を紹介し、イギリス、インド、オーストラリアからの参加者に6セットを寄贈した。
- ・2016年6月に『はだしのゲン』中国語繁体字版が台湾の出版社で発行され、他言語での翻訳・出版は24言語となる。引き続き中国語簡体字版が中国大陸で出版される環境づくりのため、中国語版翻訳グループからの働きかけにより、中国大陸の大学関係者22人に『Barefoot Gen』14セット、日本語版22セットを寄贈した。

(注) ①『はだしのゲン』の2017年度寄贈実績及びこれまでの寄贈累計は12頁参照

②はだしのゲンをひろめる会が取扱い可能な出版物

『はだしのゲン』日本語版（汐文社）、英語版、ロシア語版改訂版、中国語繁体字版、アラビア語版第1巻

#### (2) 『はだしのゲン』を小中学校に普及する事業

- ・核戦争を防止する石川医師の会が2011年度から取り組んでいる県内小中学校への『はだしのゲン』寄贈運動にひろめる会は準備段階から協力している。これまでの寄贈実績は『はだしのゲン』67セット、『Barefoot Gen』2セットであるが、2017年度は取り組むことが出来なかった。
- ・はだしのゲンをひろめる会HP等により、『はだしのゲン』紙芝居CDの普及を継続中。

(注) 『はだしのゲン』紙芝居CDの普及実績は11頁参照

#### (3) 原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝える事業

- ・9月10日、京都外国語大学で被爆者証言の多言語化事業を行っている被爆証言の世界化ネットワーク（略称：NET-GTAS）から「はだしのゲン」英語版の普及について取材依頼があり、長谷邦彦代表、荘中孝之京都外大教員が来沢し、浅妻理事長、大田事務局員が応対した。

・ひろめる会は、反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会及びピース9フェスティバル実行委員会の参加団体として、また核戦争を防止する石川医師の会の「国連・核兵器廃絶デー」後援団体として下記の事業に協力した。

日程	会場	名称・内容	主催団体
7月23日(日) <雨天中止>	金沢市卯辰山・平和の子ら像前	ピースデー2017 *ひろめる会の活動報告	反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会 *参加団体
7月30日(日)	美川文化会館	ピース9フェスティバル2017 *ひろめる会の活動展示	ピース9フェスティバル実行委員会 *参加団体
8月3日(水)～ 17日(水)	石川県庁19階展望ロビー	「原爆と人間展」＋「志田弘子 友禅染め絵」展示 *「はだしのゲン」紙芝居	反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会 *参加団体
9月23日(土)	石川県教育会館3階ホール	国連・核兵器廃絶デー／山口大輔さん講演会、DVD上映「この空を見上げて 石川・被爆者たちの証言」	核戦争を防止する石川医師の会 *後援団体
10月15日(日)	松ヶ枝福祉館4階集会室	ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダー 林田光弘さん講演会／街頭宣伝活動	反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会 *参加団体
12月10日(日)	近江町市場前	ノーベル平和賞受賞記念「ICAN おめでとうアクション」／街頭宣伝活動	反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会 *参加団体

#### (4) 核兵器廃絶を求める個人、団体、自治体等と協力する事業

- ・被爆者と核廃絶を求める世界中の人々の強い願いが実を結び、昨年7月に核兵器禁止条約が制定された。この条約制定まで主導的役割を果たしてきた核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）に対し、2017年のノーベル平和賞が授与された。ひろめる会は反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会メンバーとして、「ヒバクシャ国際署名」の取り組みを推進した。
- ・9月17日～18日、東京都江戸川区で開かれた「戦争の真実を語り継ぐ 第17回戦争展 in 江戸川」（主催 被爆者による親江会）への出演依頼があり、ひろめる会から浅妻南海江、坂東弘美、アラン・グリーンスンの3氏が出演。浅妻理事長の参加報告をひろめる会HPに掲載した。

#### (5) 会の活動状況や原爆資料に関する情報提供等の広報事業

- ・ひろめる会の日常活動を広報するためホームページを有効活用した。
- ・賛同団体、賛助会員を増やすためリーフレット改訂版を1000部発行した（7月）。

#### (6) NPOボランティア活動助成事業への応募

- ・ひろめる会の活動財源を確保するため、石川県NPO活動支援センター等から助成事業に関する情報を入手し、検討中。